

主要事務事業戦略シート

平成29年度
病院局
事業管理者 齋藤 康

局・区の使命	市民が必要とする安全・安心な医療を一人でも多くの市民に提供する。健全な病院経営を確立し、市立病院を持続発展させる。
事業選択・重点化・見直しの考え方	公立病院として政策的医療等を提供する役割を積極的に担っていくとともに、安定的な経営基盤を確立するため、収益向上やコスト削減に取り組んでいく。

施策			2-1-2		医療体制の充実								
No.	新規	事務事業(業務)名	事務事業(業務)概要		現状分析			課題抽出		今後の方向性		所管課	
			目標(目的) 【(事務事業(業務)を行い誰(何)が、どのような状態になることを目指すのか】	主な内容 【サービス等の提供内容や提供先】	事務事業(業務)に必要な行政資源		コスト換算 (単位:百万円)	行政コストの合計額 (単位:百万円)	主な実績・効果 【利用者数・件数等】	分析・評価 【現在どのような状態で、どのような課題があるのか】	改善・改革の手法		今後の方向性
1		病院運営	市民が必要とする安全・安心な医療を一人でも多くの市民に提供する。	診療、入院サービスの提供	ヒト	H29職員数 1,117人 医師 146人 医療技術員 176人 看護職員 698人 行政職 92人 技能労務職 5人	11,727	23,344	【H28年度】 ①延患者数 青葉病院 入院 106,222人 外来 204,946人 海浜病院 入院 65,635人 外来 137,754人 ②収支状況 純損益 △2,116百万円 【H27年度】 ①延患者数 青葉病院 入院 106,141人 外来 204,150人 海浜病院 入院 73,190人 外来 148,151人 ②収支状況 純損益 △368百万円	経営基盤の安定化が大きな課題となっている。平成28年度決算では、累積赤字が69億円、補てん財源不足が19億円にのぼったほか、初めて資金不足比率も発生している。 一方で、効率性のみを追求することなく、政策的医療等を提供する役割を積極的に担っていく必要があり、市立病院のあり方を市長部局を含めた広い視野で検討していく必要がある。	⑧ その他	市民に求められる医療を提供し、紹介患者数の増などにより医業収益を改善させる。	経営企画課
					モノ	市立青葉病院 市立海浜病院	2,123	<参考> 前年度決算額			① 調達改革	発注方法の見直しなどにより、費用を削減する。 (例)SPD委託:両病院一括で発注し、スケールメリットを得るとともに、プロポーザルの際に診療材料費の削減目標を設定する。	
			他都市等の状況		カネ	H29歳出予算額 収益的支出 23,344百万円 資本的支出 3,153百万円	9,494	H28歳出決算額 収益的支出 21,214百万円 資本的支出 2,891百万円					